

令和7年度小学校教科担任制実施報告書(高学年型)

|            |
|------------|
| 学校名        |
| 尾道市立日比崎小学校 |

1 学校の概要

(1) 学校の学級数

|     | 通常学級 |    |    |    |    |    |    | 特別支援学級 | 合計 |
|-----|------|----|----|----|----|----|----|--------|----|
|     | 1年   | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 計  |        |    |
| 学級数 | 2    | 2  | 2  | 3  | 3  | 3  | 15 | 5      | 20 |

2 加配教員が専科指導を行う教科及び週当たりの担当授業時数

(1) 第5、6学年の指定教科

| 指導教科名 | 指導学年 | 指導学級数 | 1学級当たり時数(週) | 授業時数(週) | 兼務校での実施 |
|-------|------|-------|-------------|---------|---------|
| 理科    | 5    | 3     | 3           | 9       |         |
| 理科    | 6    | 3     | 3           | 9       |         |

授業時数 計 18 (a)

(2) その他

| 指導教科等名 | 指導学年 | 指導学級数 | 1学級当たり時数(週) | 授業時数(週) | 兼務校での実施 |
|--------|------|-------|-------------|---------|---------|
|        |      |       |             | 0       |         |

授業時数 計 0 (b)

授業時数 合計 18 (a)+(b)

3 教科担任制推進教員を配置した授業計画

| 教科等              | 国語 | 書写 | 社会 | 算数 | 理科 | 音楽  | 図工  | 家庭  | 体育  | 外国語 | 道徳 | 総合 | 特別活動 |
|------------------|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|------|
| 週当たり標準授業時数       | 5  |    | 3  | 5  | 3  | 1.4 | 1.4 | 1.6 | 2.6 | 2   | 1  | 2  | 1    |
| 6年 1組<br>(担任: A) | A  | A  | A  | C  | 推進 | 専科  | A   | 専科  | A   | A   | A  | A  | A    |
| 6年 2組<br>(担任: B) | B  | B  | B  | A  | 推進 | 専科  | B   | 専科  | B   | B   | B  | B  | B    |
| 6年 3組<br>(担任: C) | C  | C  | C  | B  | 推進 | 専科  | C   | 専科  | C   | C   | C  | C  | C    |

| 教科等              | 国語 | 書写 | 社会  | 算数 | 理科 | 音楽  | 図工  | 家庭  | 体育  | 外国語 | 道徳 | 総合 | 特別活動 |
|------------------|----|----|-----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|------|
| 週当たり標準授業時数       | 5  |    | 2.9 | 5  | 3  | 1.4 | 1.4 | 1.7 | 2.6 | 2   | 1  | 2  | 1    |
| 5年 1組<br>(担任: D) | D  | D  | D   | D  | 推進 | 専科  | D   | D   | D   | D   | D  | D  | D    |
| 5年 2組<br>(担任: E) | E  | E  | E   | E  | 推進 | 専科  | E   | F   | E   | E   | E  | E  | E    |
| 5年 3組<br>(担任: F) | F  | F  | F   | F  | 推進 | 専科  | E   | F   | F   | F   | F  | F  | F    |

4 高学年担任が指導を行う教科等及び週当たり授業時数

| 学年・学級 | 児童数(人) | 担任 | 担任する学級以外の授業時数(週当たり) |      |     |        | 担任する学級の授業時数 | 授業時数の合計 |
|-------|--------|----|---------------------|------|-----|--------|-------------|---------|
|       |        |    | 指導学年・学級             | 教科等名 | 時数  | 時数計(c) |             |         |
| 6-1   | 27     | A  | 6-2                 | 算数   | 5   | 5      | 18          | 23      |
| 6-2   | 28     | B  | 6-3                 | 算数   | 5   | 5      | 18          | 23      |
| 6-3   | 28     | C  | 6-1                 | 算数   | 5   | 5      | 18          | 23      |
| 5-1   | 26     | D  |                     |      |     | 0      | 24.6        | 24.6    |
| 5-2   | 25     | E  | 5-3                 | 図工   | 1.4 | 1.4    | 22.9        | 24.3    |
| 5-3   | 25     | F  | 5-2                 | 家庭   | 1.7 | 1.7    | 23.2        | 24.9    |

5 成果と課題

(①授業の質の向上、②多面的な児童理解、③小・中学校の円滑な接続、④教師の負担軽減、⑤その他)

| 〈効果のあった取組〉 |  |
|------------|--|
| ①          | 教材研究と準備に時間を作ることができ、効果的な授業づくりを行うことができた。例えば、5年生「ヒトのたんじょう」の学習を深めるために、教科担任制推進教員が地域の社会福祉協議会と連携し、赤ちゃんの人体模型を各班に提供したことで、一人一人に大きさや重さを実体験させることができた。        |
| ②          | 校内教科担任制推進協議会を設置し、担任と教科担任や授業交換を行っている学級担任とで児童の様子を交流した。日頃から、授業の様子を交流することで、児童の実態を把握・共有するようになった。  |
| ③          | 全国学力・学習状況調査の分析を日比崎地区の小中学校合同で行った。また、お互いに小・中学校の校内研究会を全教員が参加した。普段交流が難しい理科や音楽の教員も、指導のポイントの交流をすることができた。進学時に円滑な接続ができるように、中学校の先生に小学校で英語の授業をしてもらう取組を行った。 |
| ④          | 高学年では理科・音楽・家庭科の専科に加え、算数や図工・家庭科の授業交換を行った。教科担任制を導入することにより、6年生の持ち時間は23.5時間となり、学校全体にかかわる仕事に取り組みやすくなった。   |
| ⑤          | 5年生担任・6年生担任が毎月授業を参観し合うことができた。また空き時間を確保することで、組織的な取組を充実させることができた。  |

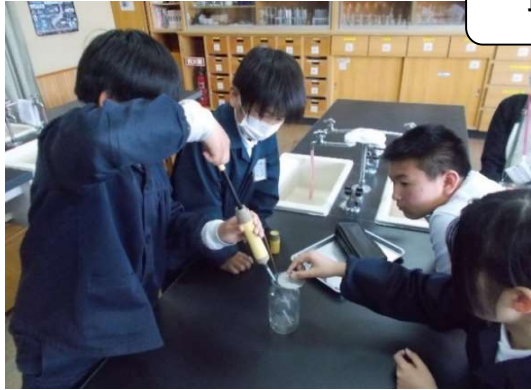
| 〈成果〉 |   |
|------|---|
| ①    | 理科の学期末テスト平均が5年生89.4点、6年生が87.8点でどちらの学年も目標値85%を上回ることができた。第2回小学校教科担任制に関するアンケートでは、授業はよく分かると答えた児童は、77.3%から77.1%で-0.2%だった。授業改善につながっていると答えた教員は95.7から95.9%で+0.2%だった。                        |
| ②    | クラス間で授業交換を行うことや教科担任が様々なクラスと関わることで、様々な児童と関係が築けた状態で学校行事や修学旅行などに参加することができた。また、生徒指導面でも学級担任と共に対応することができた。第2回小学校教科担任制に関するアンケートでは、児童の様子が情報共有できていると答えた教員は93.5%から95.8%で+2.3%だった。             |
| ③    | 全国学力・学習状況調査の分析で、小学校の課題と中学校の課題を出し合うことで9年間で育てたい力を共有することができた。1月までに中学校との連携を7回行うことができた。第2回小学校教科担任制に関するアンケートでは、中学校から教科ごとに先生が変わることに不安がなくなったと答えた児童は、73.1%から70.9%で-2.2%だった。                  |
| ④    | 専科や授業交換を行うことで教材研究の時間を十分に確保することができた。学年で授業の足並みを揃えることにつながった。空き時間の中で、準備や丸付け等の学級事務の時間を作ることができた。また、他の学年やクラスの授業を見に行くことができた。第2回小学校教科担任制に関するアンケートでは、業務改善につながっていると答えた教員は、89.5%から92.5%で+3%だった。 |
| ⑤    | 方策管理シートから他のクラスの授業を毎月参観することができたと回答した5・6年生担任は95%だった。他クラスに入ること、学年全体の児童との関わりが増え、他クラスの良さを自分のクラスに広げることができた。第2回小学校教科担任制に関するアンケートでは、組織的な生徒指導ができていると答えた教員は95.7%から95.9%で+0.2%だった。             |

| 〈課題〉 |  |
|------|--|
| ①    | 急な特別時程で専科の授業が変更になると授業時間の確保が難しくなる。また、クラス間の規律面で差が見られた。 |
| ②    | 授業中の児童の努力や課題などの報告が口頭中心になり、記録として残すことが十分でなかった。         |
| ③    | 今後も中学校へのつながりを意識した授業づくりを行っていく必要がある。                   |
| ④    | 行事や出張等の特別時程になった場合に時間割を組むのに時間がかかった。                   |
| ⑤    | 「授業が楽しみ」「相談できる先生が増えた」と感じる児童をさらに増やしていく必要がある。          |

| 〈対策〉 |  |
|------|--|
| ①    | 学校全体での取組であることを児童に周知し、複数の教員で声を掛けていく。早い段階で計画を立て周知する。 |
| ②    | 要録などの所見などにも活用できるように記録を少しずつデジタルデータで残していく。           |
| ③    | 中学校の先生に授業をしてもらう機会を作る。(3月に外国語で実施予定)                 |
| ④    | 時間割や行事予定などから早めに週案を作るようにする。出張があるときは、早めに伝える。         |
| ⑤    | 複数の教員で、生徒指導の面だけでなく、肯定的な声かけや紹介する場面を積極的に増やしていく。      |



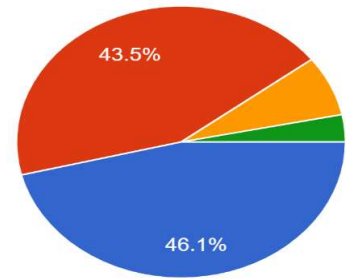
授業の様子



小・中学校  
合同研修

理科の授業の内容はよくわかりますか。  
154 件の回答

- 当てはまる
- どちらかといえば当てはまる
- どちらかといえば当てはまらない
- 当てはまらない



学校独自  
アンケート



休憩時間  
の様子

